

精神看護 第22巻 総目次

2019年 1号(=1月号)、2号(=3月号)、3号(=5月号)、4号(=7月号)、5号(=9月号)、6号(=11月号)

表示は、「題名：著者，号数，開始ページ。」

特集

[1月号] オープンダイアログと中動態の世界

中動態／意志／責任をめぐる：國分功一郎，1，5。
臨床で使える中動態——オープンダイアログとの関連性
をもとに：斎藤環，1，21。
シンポジウムに参加して——うつ病経験者からみた「欲望
形成支援」，1，29。

[3月号] 教えて先輩！ 看護って何？——現場のどうし よう、困ったを解消する看護理論

オレム・アンダーウッドの「セルフケア理論」に触れるの巻：
中村創、水谷緑，2，117。
ペプロウの「対人関係理論」でアプローチするの巻：中村創、
水谷緑，2，126。
トラベルビーの「人間対人間の看護」で泣くの巻：中村創、
水谷緑，2，134。

[5月号] 松沢病院が身体拘束最小化を実現した25の 方法——やらされ感からやりがいへ

身体拘束の今と松沢病院：中田信枝、大場直樹、佐伯昌彦、
西宏隆、木田ゆかり，3，229。
身体拘束最小化に立ちはだかる3つの壁とは：中田信枝、
大場直樹、佐伯昌彦、西宏隆、木田ゆかり，3，231。
壁を乗り越えるために実践した25の方法：中田信枝、大場
直樹、佐伯昌彦、西宏隆、木田ゆかり，3，233。

[7月号] メリデン版訪問家族支援！——「家族」を本人 と同等の支援対象にすると、こんな変化が生まれるん です

【解説編①】メリデン版訪問家族支援とは——その原則・目
的・特徴について：佐藤純，4，325。
【解説編②】メリデン版訪問家族支援の8つの構成要素：佐
藤純，4，330。
【実践報告①】ファミリーワークを通して、ポジティブで建
設的な見方・姿勢を培うことができた！——ファミリー
ワークは支援者自身を変えていく：小松容子，4，337。
【実践報告②】困難ケースが困難ケースでなくなった！以前
の私、今の私の視点の違い：鈴木大輔，4，345。
【実践報告③】ファミリーワークがもたらした組織への変化
家族に対するスタッフの姿勢が変わった：吉野賀寿美，4，
350。
【実践報告④】支援のなかで変わっていく家族と私「やっぱ
り信じるって大事だ！」：松本綾，4，355。
【実践報告⑤】本人、家族との協働作業 新しいチャレンジ
を一緒に楽しむ：松井洋子，4，359。
【実践報告⑥】ファミリーワーカーがACTに新しい気づきを
運んでくれた：梁田英磨，4，363。
【情報編】メリデン版訪問家族支援の基礎研修を受けるに
は：小松容子、長江美代子，4，368。

[9月号] 感情・関係・状況を可視化できるグラフィック レコーディングのインパクト——なぜこのツールは希望 を生み出すのか

グラフィックレコーディングへの期待：向谷地生良、池松
麻穂，5，438。
即興 当事者研究をグラレコする：会場参加者、向谷地生
良、清水淳子，5，440。
基礎講座「グラレコって何だ!？」：清水淳子，5，447。
《グラレコ体験談》——線は光——ぼくの輪郭を取り戻すた
めに：武田俊，5，466。

[11月号] 琵琶湖病院で始まっているオープンダイア ログを取り入れた日常診療

琵琶湖病院が、オープンダイアログに開かれるまで：村
上純一，6，531。
オープンダイアログを実践したケースを紹介します：村
上純一，6，538。
オープンダイアログの実践に対する現場からの質問に答
える：村上純一，6，544。
琵琶湖病院のスタッフに聞きました。「オープンダイアログ
をやってみてどうでしたか？」：聞き手：編集部，6，550。

特別記事

今さら聞けない精神科用語 「防衛機制」を理解しよう：小
林信，1，36。
自閉症スペクトラムの特性が強い患者さんへの看護【前編】
——自閉症スペクトラムである可能性に気づけば看護が
変わり、患者さんが変わる：山下隆之，1，45。
自閉症スペクトラムの特性が強い患者さんへの看護【後編】
——知的障害が併存し、暴力があり、長期隔離処遇が続
いていたケースが退院に至るまで：山下隆之，2，156。
レポート漫画 オープンダイアログをフィンランドで受
けてわかったこと：水谷緑，3，262。
「シルバーリボン」啓発活動を多くの人に知ってもらいた
い：関茂樹，3，270。
袖ヶ浦さつき台病院では、特定行為研修修了者が活躍中
——特定行為研修の指定研修機関になった理由：栗原サ
キ子，4，372。
——袖ヶ浦さつき台病院における特定行為研修修了者の
活動報告：東海林宏美，4，377。
——組織内での実際の動きを紹介します：原田竜亘，4，
382。
——日本精神科看護協会に聞きました。、4，387。
介護職とにおい 語られずにきたものを語る：金井聡，5，
488。
医療観察法病棟で幻聴妄想を聞く：村上靖彦，6，556。
貧困により住まいを失ったセクシュアルマイノリティをサ
ポートするLGBTハウジングファースト：金井聡，6，572。

レポート

スカイプを通じて他県の仲間と話し合う「精神科看護勉強
会」を開催——日本精神科看護協会茨城県支部と共催：
渡邊貴史，2，147。
彼女が漫画を描くまで：國田航平、まりもさん，3，274。
児童・思春期病棟で技術を共有するには：山口敬，6，580。

対談

地域に出るなら、勇気と覚悟と本2冊！：春日武彦、小瀬
古伸幸，5，476。

連載

●便との戦いに終止符を。腸は畑——畑を壊さないた めには

(1)便は精神症状に影響している！：塩月玲奈，1，30。
(2)精神科医の悪戦苦闘の日々(前編)：中島衛，2，166。
(3)精神科医の悪戦苦闘の日々(後編)——便秘、イレウスに
させない医療は病院経営も助けるのだ：中島衛，3，278。

●当事者研究のスキルバンク／べてるの家

(9)本日のスキル 安心のポイント蓄積法：亀井英俊さん，1，
108。

- (10)本日のスキル 電話コミュニケーションさみしき解消法：くまさん，2，216。
 (11)本日のスキル サトラセ安心つながり回復法：吉野雅子，3，318。
 (12)本日のスキル 幻聴さんを交えた家族問題円満解決法：星野佳子さん，4，430。
 (13)本日のスキル 自分を助けるオリジナルグッズの開発と活用：坂 雅則さん，5，524。
 (14)本日のスキル 天界と下界の関係マネジメント法：松村満恵さん，6，614。

●イイネ！ その業務改善

- (11)有馬高原病院は、「メンタルにやさしい」入院案内に変えました：大西恵，4，389。

●訪問看護で出会う「横綱」級ケースにくじけないための技と型、教えます

- (10)無自覚な「代理行為」はなぜいけないのか：小瀬古伸幸，1，68。

●栄養精神医学／奥平智之

- (6)《特別インタビュー編》その2——「栄養型うつ」の種類と対策，1，97。
 (7)血液検査を栄養学的に活用する——ビタミンB群とタンパク質を中心に，2，194。
 (8)鉄欠乏は炎症の有無で対応策が変わる——血液検査で微細な炎症を見逃さない，3，293。
 (9)精神科における亜鉛欠乏と血液検査の解釈，4，424。
 (10)精神科におけるビタミンD欠乏の潜在的問題，5，514。
 (11)精神科患者における腸管と栄養学的な問題，6，608。

●武井麻子先生にこれを聞きたい／武井麻子

- (5)「フィールドワークについて教えてください」の件について，1，84。
 (6)「デブリーフィング・セッションについて知りたい」の件について，2，206。

●間の間／伊藤亜紗

- (4)ペンギン・ジャック，1，1。
 (5)飛びます、飛びます，2，113。
 (6)猛獣使い，3，225。
 (7)場が引っ込めば挨拶が立つ，4，321。
 (8)帯電生活，5，433。
 (9)交換しましょ、そうしましょ，6，527。

●幻覚・妄想を聞く。

- (3)嫌がらせに“無”になって耐えていたため、長い間人とのかわりが持てなかったAさん：星川亜未，1，55。
 (4)スタッフになぜゆとりが生まれるか：星川亜未，2，171。

●これが長谷川病院のセルフケア看護モデルをベースにした看護だ／五味麻里、細谷真由、後藤優子

- (3)どのように看護計画を立案しているのか，1，62。
 (4)セルフケア看護モデルを活用した事例の展開，2，178。
 (5)セルフケア看護モデルをどのように根づかせ、教育しているか，3，300。

●MSEを穴埋め式問題で練習してみよう／武藤教志、小野悟

- (3)パーソナリティ障害のケース，1，75。
 (4)せん妄のケース，2，184。
 (5)せん妄のケースの続き，3，284。
 (6)せん妄のケースのまとめ，4，407。
 (7)慢性期統合失調症のケース，5，506。
 (8)認知症のケース(前編)，6，599。

●栄養学的アプローチと精神科看護／高原健一

- (2)タンパク質が身体と心の健康に必須である理由，1，90。
 (3)脂質がめちゃくちゃ大事。コレステロールが低いのは危険なのだ！，2，200。

●リエゾンナースである私が、自分史上最も困難を感じたケース

- (1)本当は歩いてる？ 下肢の痛みが消えない人：武用百子，2，150。

●うんこあるある／塩月玲奈

- (1)，2，170。
 (2)，3，283。
 (3)，4，399。
 (4)，5，496。
 (5)，6，585。

●精神科に入職して初めて働く時に、やったほうがいいこと、やらないほうがいいこと——私が患者さんから学んだ「精神科仕事術」／山下隆之

- (1)ようこそ、精神科へ，3，256。
 (2)日勤業務の流れがなんとなくつかめてきたあなたへ，4，400。
 (3)少し周りの状況が見えてきたあなたへ，5，500。
 (4)仕事に慣れを感じ始めたあなたへ，6，594。

●[発達障害当事者マンガ]私が経験している世界／白井風子

- (1)いろいろな過敏(作者・白井風子さんを紹介します／河田祐輔)，4，392。
 (2)感動しすぎる話，5，474。
 (3)集中が不器用な話，6，570。

●家庭で生活できない高齢児のための「自立援助ホーム」を運営しています／関茂樹

- (1)社会的養護(児童福祉)の現場から，4，396。
 (2)障害を持つ児童への支援と課題，5，497。
 (3)更生施設へ向けて少年と旅をする，6，576。

●患者さんが「怒った」事例をアセスメントして今日からの精神科看護に活かしたい

- (1)手加減なしにグーで殴ってくるAさん：田辺有理子，5，484。
 (2)学生にペットボトルを投げつけたAさん，6，586。

●編集部がすっごくオススメする映画「これ観たほうがいいですよ！」

- (1)『人生、ただいま修行中』(映画評：武井麻子)，6，590。

書評・書論

「いざ」を幾多経験したからこそ(『精神科ならではのファーストエイド』：横嶋清美，1，104。

つい何時間も見てしまう動画と学会や講演会のプレゼンは何が違うのか？(『脱・しくじりプレゼン——言いたいことを言うと言わない!』：徳田安春，2，211。

訪問看護(師)が苦手な人にこそ読んでほしい(『家に帰りたい』『家で最期まで』をかなえる——看護の意味をさがして)：宮子あずさ，3，277。

「主体」は吃音に乗って——オープンダイアログと『どもる体』(『どもる体』：斎藤環，3，314。

デイクアについてずっと書き続けたかった(『居るのはつらいよ』：伊藤絵美，4，416。

共同創造の可能性が拓かれていく(『精神障害リハビリテーション』：向谷地生良，5，522。

読者投稿コーナーだよ。ここ掘れかんかん!

奄美大島で進める精神科地域包括ケアシステム——光・風・人が織りなす精神科医療：中園明子，3，309。

ニュース・お知らせ

外国人の患者さんを看護するための「コミュニケーション支援ツール」，1，110。

「行ってきましたこんな取材」、おすすめ映画情報，2，215。

精神科認定看護師への道，4，423。

精神科認定看護師への道，5，505。